

5 スペアリモコンについて

●リモコンを紛失または破損（修理不可能）した場合は、スペアリモコン（有償）を作ることができます。保証書またはリレーユニットのシリアルナンバーを確認の上、販売店または取り扱い店を通して注文してください。

●スペアリモコンのID書込み、および作動確認手順

操 作	送信音	リレーユニットのブザー音	備 考
車両のIG電源「ON」			受付時間 10 秒以内
「START」 & 「STOP」	ピピピッ	ピロッ	受付時間 10 秒以内
「STOP」	ピピッ	ピピー	書込完了
車両のIG電源「OFF」			
「START」	ピッ	(エンジン始動)	

- 書込完了しても「START」操作でエンジンが始動しない場合は、登録ができていません。最初からやり直してください。
- スペアリモコンのID書込みが完了すると、今までのリモコンは使えなくなります。またリモコンを2個以上注文されても、1台の車両に対して使用できるのは1台のリモコンのみです。
- リレーユニットを取り外した場合、35ページの「リレーユニットの取り付け」と「取り付け後の配線処理」に従って取り付けを行ってください。

6 アフターサービス

保証期間中は、保証規定に基づいて修理いたします。保証書は、故障の修理時またはスペアリモコンの作成時等に必要となります。必要事項が記入されていることをご確認の上、車検証等といっしょにして大切に保管してください。また、保証期間後の修理については、販売店または取付店にご相談ください。

アフターサービスのお問い合わせ

総発売元 株式会社シーディートレーディング
〒399-8303 長野県安曇野市穂高 7557-1
TEL 0263-81-1189 FAX 0263-84-0089
Web <http://es89.com/>
e-mail : info@cdt.jp
取扱い販売店

製造元 株式会社 サークットデザイン

取扱・取付説明書

双方向テレコントロールエンジンスターター
(プッシュスタート車専用モデル)

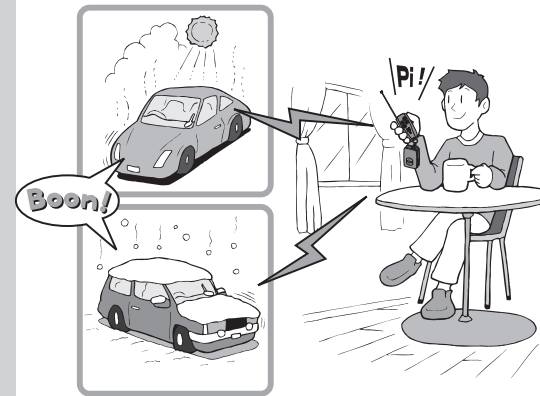
NEXT LIGHT

はじめに

このたびは、双方向テレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、自動車のエンジンコンディションを整えるためのウォーミングアップ、寒冷地での暖機運転、酷暑時での車内の冷房等をするために、遠隔操作によってエンジンのスタート/ストップ等を行う機器です。

ご使用前に、この取扱・取付説明書をよくお読みの上、注意を守って正しくお使いください。



警告

- お客様ご自身での取り付けは危険ですので、取り付けはお買い求め店にご相談ください。
- 本製品を分解・改造しないでください。また、本来の目的以外のご使用は危険ですのでおやめください。
- 排気ガスの充満しやすい場所および公道でのエンジン始動は行わないでください。

注意事項の見方……2

使用上のご注意……2~6

1. エンジンスターターの使い方……7

1. このように構成されています
各部のなまえ/電池の交換/電池交換のしかた/リモコンとスマートキーの準備 **1**
2. 動かしてみましょう
エンジンを始動する/エンジン始動の確認をする/エンジンを止める/ドアをロック（施錠）する/ドアをアンロック（開錠）する/知っておきたいこと **2**
3. 便利な機能
インフォメーション（電波到達エリアの目安を確認）/オートライトキャンセル/スリープタイマー **3**
4. 機能の設定
①初期設定/②アイドリング時間の設定 **4**
5. こんなときは（Q&A） **5**

2. エンジンスターターの取り付け方……25

取り付け上のご注意……26

1. 梱包内容
梱包内容/梱包内容の他に必要なもの **1**
2. 取り付け前の準備
揃えておきたい主な工具/エレクトロタップでの分岐接続方法/接続の概念図（システム図）/接続先の信号一覧 **2**
3. 取り付け作業
取り付けの前に/①アンテナユニットの取り付け/②専用ハーネスの取り付け/③CN2 配線の接続/④DIP-SWの設定/⑤カブラ・コネクタの接続/⑥初期設定/⑦動作チェック/⑧リレーユニットの取り付け/⑨取り付け後の配線処理/⑩機能の設定/⑪設定のリセット/⑫リレーユニットのブザーアンサーバック表 **3**
4. 主な仕様 **4**
5. スペアリモコンについて **5**
6. アフターサービス **6**

CIRCUIT DESIGN, INC.

注意事項の見方

この「取扱・取付説明書」に書かれている注意事項は、製品を安全に正しく最良の状態でお使いいただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項の意味

警告 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の意味

 禁止事項を示しています。  しなければならないことを示しています。

使用上のご注意

警告 本製品を安全に、最良の状態でご使用いただくために、必ずお読みください。

この取扱・取付説明書に関する注意事項

- 警告**
- ご使用になる前に、本冊子を良くお読みになって正しくお使いください。
 - お読みになった後は、この「取扱・取付説明書」「保証書」を製品の近くに（車検証等といっしょにして）保管し、お使いになる方がいつでも見ることができるようになしてください。
 - 本製品を別の車に取り付け直す場合は、「取扱・取付説明書」「保証書」を製品の近くに保管し、お使いになる方がいつでも見ることができるようになしてください。また「警告ラベル」が無い場合は販売店より入手してください。
 - 本製品を譲渡される場合は、「取扱・取付説明書」と「保証書」をいっしょにお譲りください。また「警告ラベル」を販売店より入手していっしょにお譲りください。

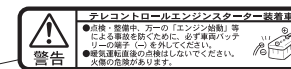
ご利用にあたっての注意事項

- 本製品は、当社の車種別ハーネス適応表、またはインターネットのホームページで適応としている、プッシュスタート車専用です。それ以外の車種には取り付けできません。
- 取り付けは、概念的な説明で確実に取り付けのできる、専門の知識を持った技術者が行うようにしてください。お客様ご自身で取り付けの場合は、PL保険の対象になりません。



警告

- 本製品を分解・改造はしないでください。分解・改造をされた場合の保証はいたしません。また本来の目的以外のご使用は危険ですのでおやめください。
- 「警告ラベル」がエンジンルーム内に貼られていることを確認してください。もし、貼られていない場合は販売店または取付店に貼るようお願いしてください。警告ラベルが無い状態で車両の点検整備をした場合、事故を起こす危険があります。



「警告ラベル」



注意

- 取り付けには、当社製の車種別専用ハーネス（別売）が必要になります。販売店にご相談ください。他社のハーネスでの取り付けはできません。もし取り付けの場合は、本製品の保証およびPL保険の対象となりません。
- 本製品は、他社のターボタイマー、またはセキュリティシステム（車両メーカー純正を含む）等との併用はできません。
- 車両側の純正キーレスエントリーシステム（スマートキーシステム等によるドアロック／アンロックも含む）は、エンジンスターターによるアイドリング中には作動しません。車両側の純正キーレスエントリーまたはスマートキーシステムを使用する場合は、エンジンスターターの「STOP」操作でエンジンを停止させてから操作をしてください。なお、本製品のリモコンによるドアロック／アンロックは、エンジンスターターによるアイドリング中も作動します。
- 取り付ける車種により、使用できない機能があります。販売店、取付店にお問い合わせください。

使用時の注意事項



警告



屋内でエンジンを始動しない

- 車庫などの換気の悪い屋内では、絶対にエンジンを始動しないでください。排気ガスにより、中毒や窒息のおそれがあります。



ボディーカバーを掛けたままエンジンを始動しない

- 車両にボディーカバーを掛けたままでは、絶対にエンジンを始動しないでください。排気ガスにより中毒や窒息のおそれがあります。また、高熱の排気ガスによる火災の危険があります。



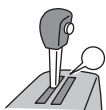
車内に人やペットを乗せたままエンジンを始動しない

- 人（特にお子様）やペットが車内にいるときは、絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの動いている車両を操作したり、ペットの思わぬ動きが重大事故につながるおそれがあります。



！ 安全な整備を行うために

- 車両の点検整備を行う際は、車両のバッテリー端子の（-）を外して行ってください。万が一、エンジンが始動した場合は重大事故につながるおそれがあります。
- 点検整備を依頼する場合は、エンジンスターター装着車であることをお伝えください。
- 安心して点検整備をするために、ボンネットセンサー（オプション）を装着することをお勧めします。



⊘ 「N」レンジでは使用しない

- エンジンスターターは「P」レンジで使用してください。「N」レンジで使用すると、エンジンの振動で車両が動き出し重大事故につながるおそれがあります。



！ 周囲の安全を確認する

- 車両の周囲の安全を十分確認できる場所（人やペットが近くにいない）でご使用ください。
- 傾斜地に駐車したときは、エンジンスターターによるエンジン始動を行わないでください。
- 車両の整備・点検時には、エンジンスターターによるエンジン始動を行わないでください。
- 公道ではエンジンスターターによるエンジン始動を行わないでください。



注意

⊘ 暖気運転直後は運行前点検をしない

- 車の暖気運転を行った直後に運行前点検を行うと、火傷のおそれがあります。エンジン停止後、5分以上経過してから火傷のおそれのないことを確認した上で運行前点検を行ってください。



⊘ 迷惑なアイドリングはしない

- 環境保護のため、周りに迷惑をかけないためにも必要以上のアイドリングは行わないでください。



！ 車両駐車時の注意事項

- オートライトスイッチ、ワイパースイッチ、オートアンテナ付きラジオ等はスイッチを「OFF」にしてください。
- パーキングブレーキをかけてください。
- シフトレバーを「P」にしてください。
- 全ての窓を閉め、全てのドアを施錠（ロック状態）にしてください。



！ 極寒ではエンジンがかかりにくいこともあるので整備をする

- 寒冷地ではエンジンがかかりにくいこともあります。車両のプッシュボタンによる始動操作のみで、エンジンが始動するように車両を整備してください。



！ 充電警告灯の点灯時はまず点検・整備を

- 車両のプッシュボタンでエンジンを始動した後に、車両の充電警告灯（CHGランプ）が消えない場合は、エンジンスターターを使用せずに車両の点検整備をしてください。



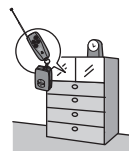
リモコンに関する注意事項



警告

！ リモコンは安全な場所に保管する

- リモコンは小さなお子様の手の届かないところに保管してください。リチウム電池を飲み込んだり、アンテナ等で目を突いてけがをしたり、誤って操作をして重大な事故につながるおそれがあります。
- リモコンのリチウム電池は充電、ショート、分解、変形、加熱、火に入れる等はしないでください。発火、発熱、破裂の原因となります。また、電池を破棄する場合および保存する場合にはテープ等で絶縁してください。他の金属や電池と混ざると発火、破裂の原因となります。幼児等が万一電池を飲み込んだ場合には直ちに医師とご相談下さい。



注意

⊘ 高温、多湿な場所に置かない

- リモコンは直射日光下の高温になる場所、湿気の多い場所、極端な温度になる場所（70℃以上、または-20℃以下）には置かないでください。リモコンを傷めたり、その直後にご使用になると正常に作動しない場合があります。



⊘ 落としたり、ぶつけない

- リモコンを落としたり、固いものにぶついたり、アンテナに無理な力を加えないでください。故障の原因になります。



⊘ 水に浸けない

- リモコンは簡易防滴構造になっていますが、水没等で水に浸かると内部まで浸水して故障の原因になるおそれがあります。



！ 中性洗剤で汚れをふき取る

- 汚れを落とすには、薄めた中性洗剤をしみこませた布で拭いてから、乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、化学ぞうきんは使用しないでください。汚れが落ちなくなったり、傷を付けるおそれがあります。



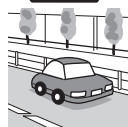
道路交通法に関する注意



警告

⊘ 公道でのエンジンスターターの使用禁止

- 公道で車両のエンジンをかけたまま放置することは禁止されています。違反すると道路交通法違反になります。エンジンスターターは私有地のみでご使用ください。



⊘ 条例によるアイドリングの禁止

- 地域により、車両の停止中にみだりにエンジンを稼働させた場合、条例により罰則を受ける場合があります。エンジンスターターは、地域の条例を確認してからご使用ください。

電波法に関する注意事項



警告



分解、改造または海外での使用禁止

●本製品のリモコン、およびリレーユニットは、電波法に基づく特定小電力無線機器として、技術基準適合証明（利用に関して、お客様の免許申請等の手続きは不要）を受けています。必ず次のことを守ってお使いください。

●分解・改造をしないでください。リモコンは電池交換のためにバッテリーカバーを外すことはできますが、それ以上の分解・改造は法律で禁止されています。

●技術基準適合ラベルははがさないようにしてください。ラベルのないものは使用が禁止されています。

●この製品は外国の電波法には準じておりません。日本国内でご使用ください。
This product is for the use only in JAPAN.

●また、この製品は混信防止機能として識別符号自動送受信機能を搭載しており、他のシステムに不具合を与えません。



空港施設・航空機内での使用禁止

●空港施設内および周辺では、本製品を使用しないでください。また、航空機内へ本製品（リモコン）を持ち込む場合は、動作をさせない（スイッチを押さない）ようにしてください。



付属のアンテナユニットを使用する

●必ず付属のアンテナユニットを使用してください。付属品以外のアンテナを取り付けると電波法違反になります。

その他の注意事項



注意



オプション部品（別売）に関する注意事項

●別売のオプション部品の使用方法、取り付け方法については、オプション部品に付属（同梱）の取付・取扱説明書をお読みください。

1 エンジンスターターの使い方

1. このように構成されています

各部のなまえ	8	1
電池の交換	9	
電池交換のしかた	9	
リモコンとスマートキーの準備	10	

2. 動かしてみよう

エンジンを始動する	12	2
エンジン始動の確認をする	13	
エンジンを止める	13	
ドアをロック（施錠）する	14	3
ドアをアンロック（開錠）する	14	
知っておきたいこと	15	

3. 便利な機能

インフォメーション（電波到達エリアの目安を確認）	17	4
オートライトキャンセル	17	
スリープタイマー	17	5

4. 機能の設定

① 初期設定	18
② アイドリング時間の設定	19

5. こんなときは（Q & A）

1

2

3

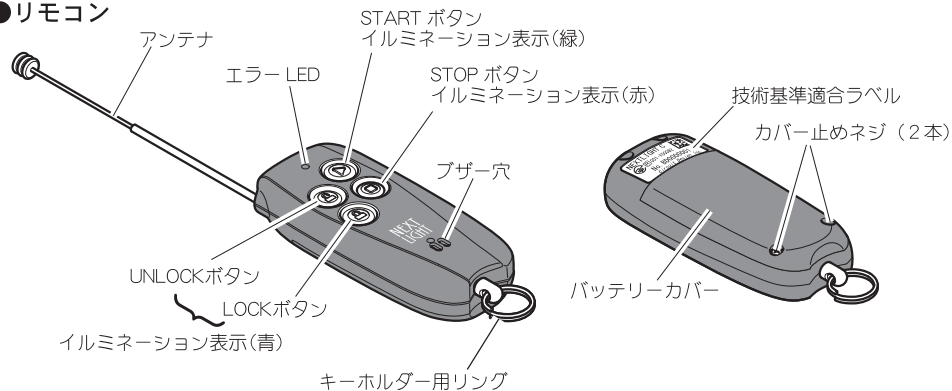
4

5

1 このように構成されています

各部のなまえ

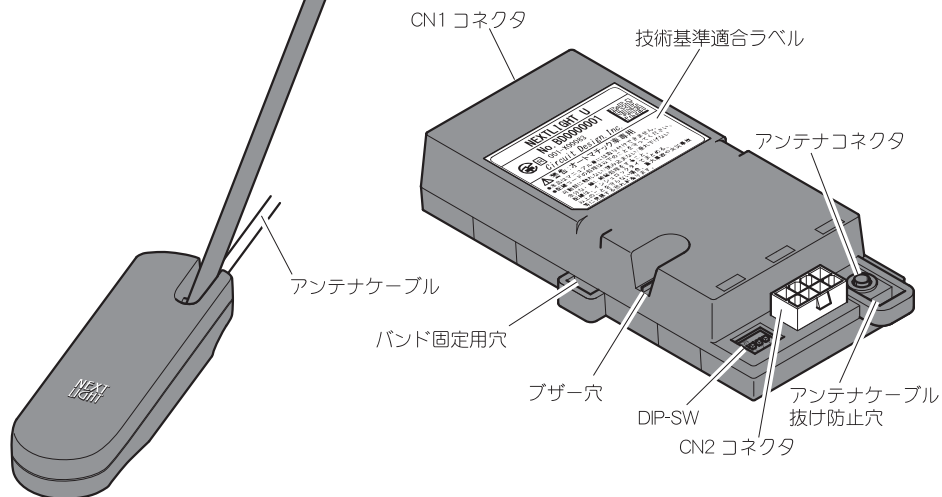
●リモコン



●アンテナユニット

アンテナエレメント

●リレーユニット



電池の交換

電池の交換時期について

送信操作をして、リモコンがそれぞれのアンサーバック表示をした後、電池消費をお知らせした（ブザーが「ブッ ブッ ブッ」と3回鳴る）場合は、電池が消耗してきているので、早めに新しい電池と交換してください。（※1）

電池寿命の目安

約1年間（1シーズン）の使用を目安に、定期的な電池交換をおすすめします。（※2）

使用電池（CR2032 × 2個）

交換する時は、必ず2個とも新しい電池に交換してください。

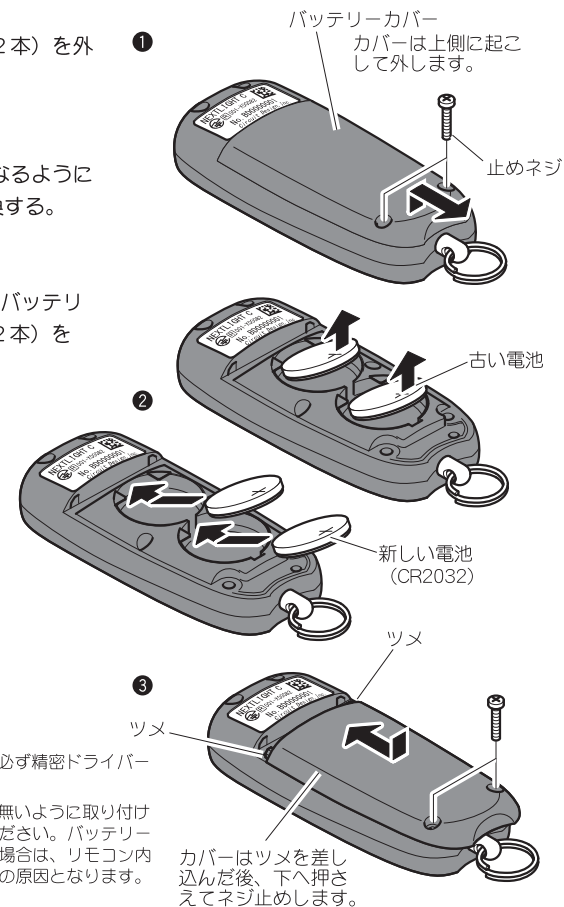
- ※1 電池は消耗してくると、特に低温時に性能が低下してきます。このため極低温の環境でリモコンを使用した場合、電池消費をお知らせせずに作動しなくなることがあります。
- ※2 電池寿命は、使用する環境、条件によって異なります。なお、工場出荷時にリモコンに装着されている電池はモニター用のため、記載より短い期間で消耗する場合がありますのでご了承ください。

電池交換のしかた

1 リモコン裏側のカバー止めネジ（2本）を外し、バッテリーカバーを取り外す。

2 古い電池を取り外し、+側が上になるように新しい電池（CR2032 × 2個）と交換する。

3 ツメ（2箇所）を差し込みながら、バッテリーカバーを取り付けして、ネジ（2本）を止める。



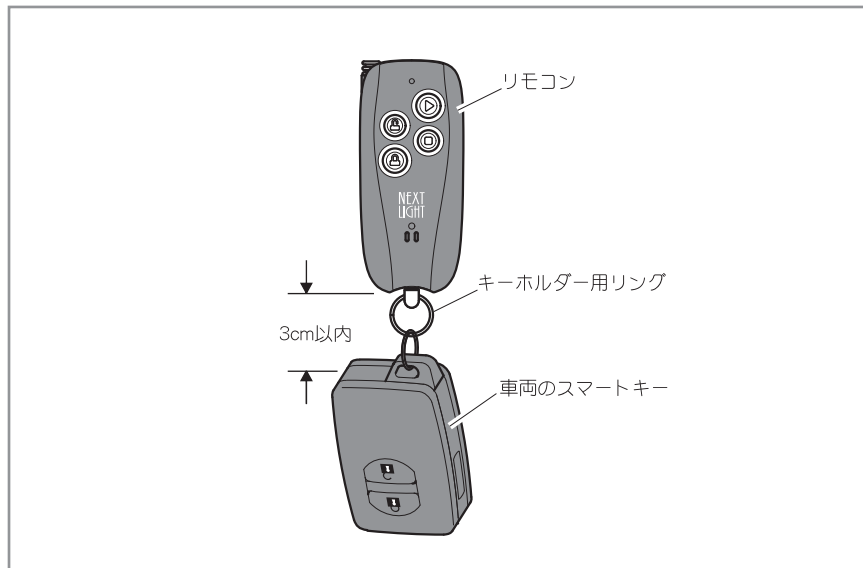
注意

- ネジの取り外しと固定には、必ず精密ドライバー（+）を使用してください。
- バッテリーカバーは、隙間の無いように取り付けして、確実にネジを止めてください。バッテリーカバーの取り付けが不完全な場合は、リモコン内部に水が入りやすくなり故障の原因となります。

カバーはツメを差し込んだ後、下へ押さえてネジ止めます。

1 リモコンとスマートキーの準備

- 車両のスマートキーをリモコンのキーホルダー用リングに取り付けしてください。
- 市販のキーリング等を使ってスマートキーを取り付けする場合は、リモコンとスマートキーの間隔が3cm以上離れないようにしてください。
- リモコンと車両のスマートキーは、キーホルダーリングに取り付けしたまま一緒に携帯してください。
- 車両のスマートキーの紛失・破損等に対する責任は一切負いかねますのでご了承ください。

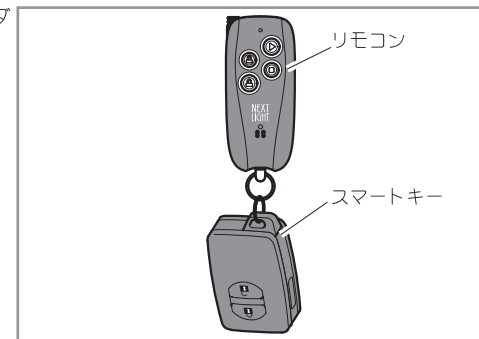


注意

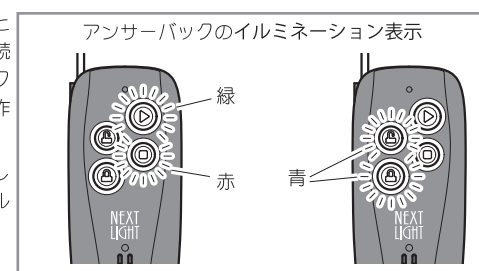
- リモコンは車両のスマートキーと一緒に持って使用しないと、スマートキーの認証ができないため、エンジンの始動ができません。
- リモコンと車両のスマートキーの間隔が3cm以上離れた状態で使用すると、スマートキーの認証ができずにエンジンの始動ができない場合があります。
- スマートキーの電池が消耗して、車両のエンジン始動およびドアロック/アンロックが作動しなくなると、リモコンによるエンジン始動ができなくなります。車両の取扱説明書を参照して、スマートキーの電池を交換してください。

2 動かしてみましょう

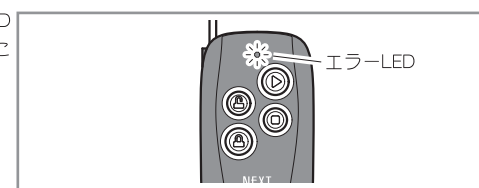
- リモコンは、必ず車両のスマートキーをキーホルダー用リングに取り付けしてから使用してください。



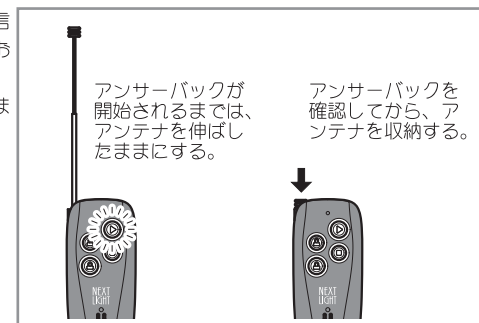
- リモコンの各ボタンは、0.5秒以上押し続けることによって、ブザーが鳴り送信します。ボタンを連続で操作する場合は、前の操作によるアンサーバック（ブザーとイルミネーション表示）後に、次の操作を行ってください。
- 送信操作後に、リモコンはそれぞれの動作に対応したアンサーバックを、ブザーと各ボタン周囲のイルミネーション表示で行います。（※1）



- リモコンがアンサーバックをせず、エラーLED（赤色）が点灯または点滅してエラーになる場合には、もう一度操作を行ってください。（※2）



- アンサーバックが開始されるまでは、電波が送受信されているので、アンテナは伸ばしたままにしておいてください。また、アンテナは十分に伸ばして、高い場所で操作した方が電波到達距離が長くなります。



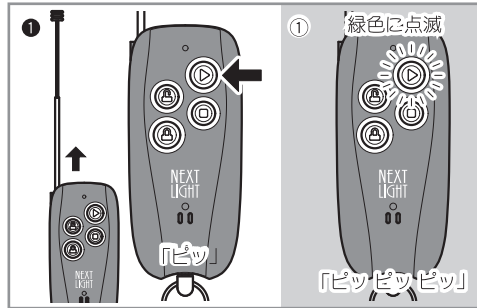
※1…明るい場所での使用時は、イルミネーション表示（緑色、赤色、青色）が見えにくい場合がありますのでご了承ください。

※2…エラーの詳細は、「リモコンのエラーについて」（15～16ページ）を参照してください。

エンジンを始動する

① リモコンのアンテナを伸ばし、「START」ボタンをブザーが「ピッ」と鳴るまで押します。アンテナは伸ばしたままお待ちください。

① アンテナユニット（車両側）からの信号を受信すると、ブザーが「ピッ ピッ ピッ」とゆっくり鳴り、「START」ボタン周囲のイルミネーション表示が約3秒間緑色に点滅します。



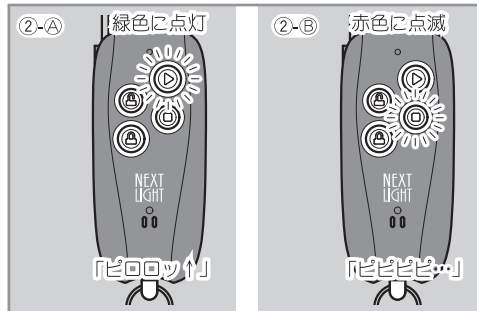
② 続けて、スマートキーの認証状態（下記のAまたはB）を、それぞれのブザー音とイルミネーション表示でアンサーバックします。

A スマートキーの認証成功

- ブザー音…ピロロツ↑
- 「START」ボタンの表示…緑色に点灯

B スマートキーの認証失敗※1)

- ブザー音…ピピピピ・・・
- 「STOP」ボタンの表示…赤色に点滅



※1…「スマートキーの認証失敗」のアンサーバックが出たときは、スマートキーの認証ができないため、エンジンの始動ができません。もう一度「START」操作を行ってください。

建物の中、障害物が多い場所等で通信状態が悪い場合は、スマートキーの認証ができずに「認証失敗」が出やすくなります。リモコンの「START」操作は、できるだけ車が見通せる場所で行うようにしてください。

② 「スマートキーの認証成功」のアンサーバックを確認してから、アンテナを収納します。



注意

- アンテナを伸ばすとき、または収納するときは、アンテナトップ（アンテナの先端の飾り部分）を持って、上下方向に、まっすぐに動かしてください。無理な力で引っ張ったり、左右に強く曲げると、アンテナが曲がったり、破損する場合があります。

エンジン始動の確認をする

●リモコンの「START」操作で、エンジン始動（エンジンがかかっているか）、及びアイドル残時間を確認することができます。

●エンジン始動の確認をする場合は、リモコンでエンジン始動操作後約1分以上経過してから行ってください。

① 「START」ボタンを「ピッ」と鳴るまで押します。

① アンテナユニット（車両側）からの信号を受信すると、リモコンはエンジン始動状態（下記のAまたはB）を、それぞれブザー音と「START」ボタンのイルミネーション表示でアンサーバックします。

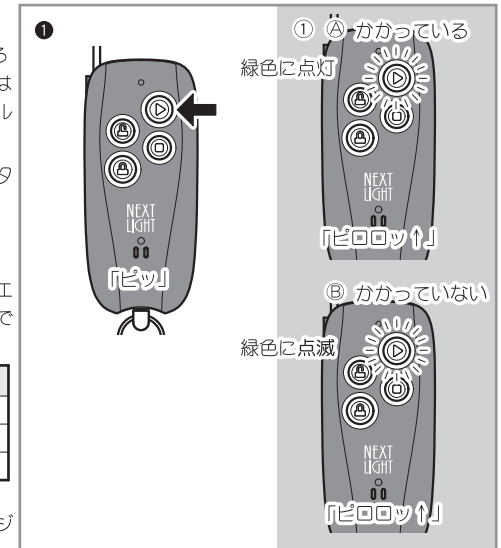
A エンジンがかかっているとき（エンジンスターターによるアイドル残状態のとき）

- ブザー音…ピロロツ↑
- 「START」ボタンの表示…緑色に点灯
- 続けてアイドル残時間（あと何分間エンジンがかかっているか）を、ブザー音でアンサーバックします。

アイドル残時間	ブザー音
15分～30分	ピッピッピッ
5分～15分	ピッピッ
5分未満	ピッ

B エンジンがまだかかっていないとき（エンジンをかけている最中のとき）

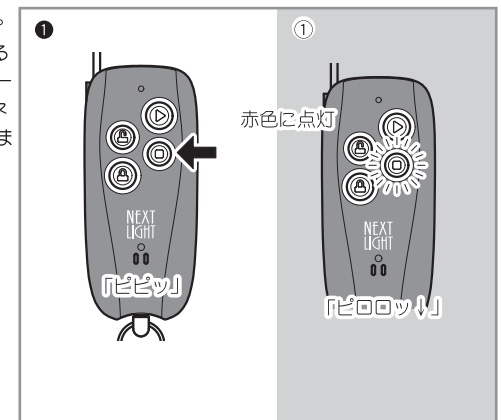
- ブザー音…ピロロツ↑
- 「START」ボタンの表示…緑色に点滅



エンジンを止める

① 「STOP」ボタンを「ピピッ」と鳴るまで押します。

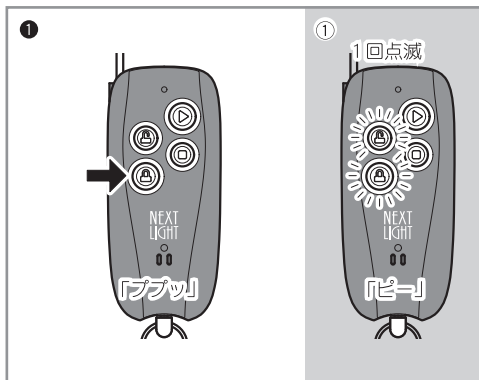
① アンテナユニット（車両側）からの信号を受信すると、リモコンはエンジンが止まったことを、ブザー音（ピロロツ↓）と「STOP」ボタン周囲のイルミネーション表示（赤色に点灯）でアンサーバックします。



ドアをロック（施錠）する

① 「LOCK」ボタンをブザーが「ブツ」と鳴るまで押します。

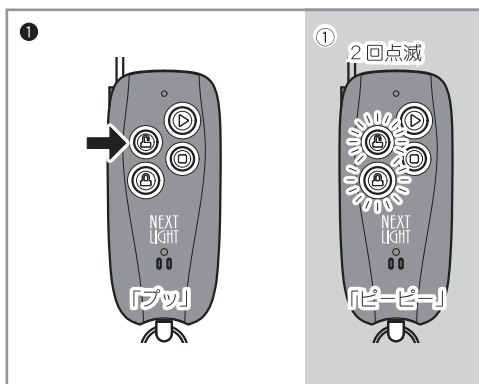
① アンテナユニット（車両側）からの信号を受信すると、リモコンはリレーユニットがドアロックの動作をしたことを、ブザーが「ピー」と鳴り、「LOCK & UNLOCK」ボタン周囲のイルミネーション表示が1回点滅してアンサーバックします。



ドアをアンロック（開錠）する

① 「UNLOCK」ボタンをブザーが「ブツ」と鳴るまで押します。

① アンテナユニット（車両側）からの信号を受信すると、リモコンはリレーユニットがアンロックの動作をしたことを、ブザーが「ピーピー」と鳴り、「LOCK & UNLOCK」ボタン周囲のイルミネーション表示が2回点滅してアンサーバックします。



注意

- 配線の不備等により、リモコンがアンサーバックをしても車両側でドアロック/アンロックが作動しない場合があります。
- ドアロック/アンロックの配線が接続されていない場合、ドアロック/アンロックは作動しません。また、車両のプッシュボタンによるアイドリング中は、ドアロック/アンロックは作動しません。
- 車両が半ドア（ドアが開いている）状態でも、リモコンでドアロック操作を行うとドアロックは作動します。必ず、車両の全てのドアが閉まっている状態で、ドアロック操作をしてください。
- 車両の盗難発生警報装置（メーカー装着、またはディーラーオプション）は、本製品のリモコンのドアロック/アンロック操作では、セット/解除されません。盗難発生警報装置付きの車両は、警報をセットした際にリモコンでアンロック操作をしないでください。リモコンでアンロックすると、車両の警報が作動します。

知っておきたいこと

初期設定

- 取り付け直後、およびリレーユニットの電源が切られた場合（バッテリーを外した等）は、「初期設定」（18ページ）をしないと、エンジンスターターでエンジン始動はできません。

エンジン始動の条件（安全機構）

- 次の条件が満たされて、はじめてエンジンは始動します。
 1. 全てのドアが閉じている。（ドア検出配線が接続されている車両）
 2. ボンネットが閉じている。（ボンネットセンサー〈別売のオプション部品〉が、取り付けられている車両）
 3. フットブレーキが踏まれていない。

STOP 操作以外のエンジンの停止

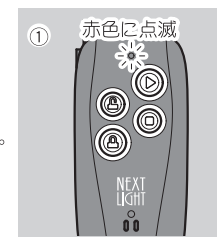
- アイドリングタイマーにより、20分（アイドリング時間を変更した場合は、10分または30分）経過すると、エンジンは自動的に停止します。
- 安全機構（エンジン始動の条件を参照）が作動すると、エンジンは自動的に停止します。
 1. ドアを開ける。（ドア検出配線が接続されている車両）
 2. ボンネットを開ける。（ボンネットセンサー〈別売のオプション部品〉が、取り付けられている車両）
 3. フットブレーキを踏む。

リモコンのエラーについて

- 次のような場合、送信操作後にエラーLEDまたは「STOP」ボタンのイルミネーション表示が赤色で点灯/点滅して、エラーになります。

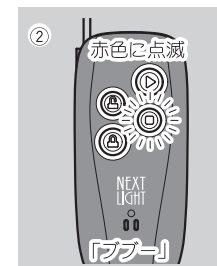
① リモコンで送信してもアンテナユニット（車両側）まで電波が届かないとき、またはアンテナユニットから送り返された信号をリモコンが受信できずアンサーバックできないとき。

- ブザー音が出て、エラーLED（赤）が点滅します。
- 電波到達エリア外です。場所を変えて、もう一度操作をしてください。
- リモコンでエラーになっても、アンテナユニット（車両側）が電波を受信できている場合は、車両側は作動（エンジンの始動、ドアロック等）します。



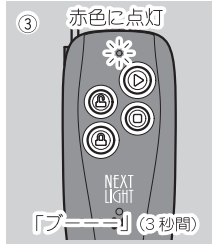
② リモコンで「START」操作をしても、安全機構が作動してエンジン始動できないとき。

- ブザー音が出て、「STOP」ボタンのイルミネーション表示が赤色で点滅します。
- 安全機構（エンジン始動の条件）が満たされるように、車両側を点検してください。



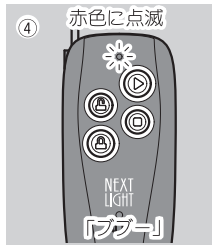
③ リモコンで送信操作をしても、電波を送信できないとき。

- ブザー音（3秒間）が出て、エラーLED（赤）が点灯します。
- 電波法の規制により、リモコンを使用するエリア周辺で、リモコンで使用する電波の周波数帯に近い電波が発信されている場合、リモコンとアンテナユニット間の送受信が制限され、電波を出すことができません。しばらく時間を置いて、もう一度操作をしてください。



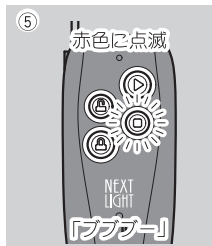
④ リモコンで送信しても、アンテナユニット（車両側）がアンサーバックできないとき。

- ブザー音が出て、エラーLED（赤）が点滅します。
- 電波法の規制により、アンテナユニット（車両側）のエリア周辺で、アンテナユニットで使用する電波の周波数帯に近い電波が発信されている場合、リモコンとアンテナユニット間の送受信が制限され、電波を出すことができません。しばらく時間を置いて、もう一度操作をしてください。
- リモコンでエラーになっても、アンテナユニット（車両側）が電波を受信できている場合は、車両側は作動（エンジンの始動等）します。



⑤ プッシュボタンで、車両のIG電源が「ON」になっているとき。

- ブザー音が出て、「STOP」ボタンのイルミネーション表示が赤色で点滅します。
- 車両のプッシュボタンでIG電源を「OFF」にしてから、もう一度操作をしてください。



3 便利な機能

インフォメーション（電波到達エリアの目安を確認）

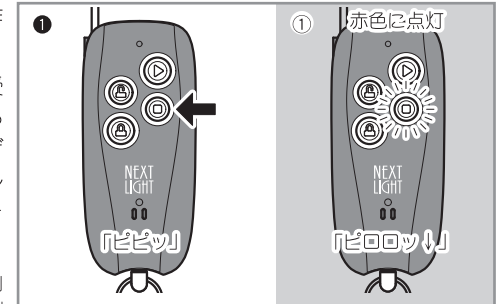
- 車両のエンジンが停止しているとき（駐車中）に、リモコンで「STOP」操作を行うと、電波到達エリア（車両まで電波が届くかどうか）の目安を確認することができます。

インフォメーション機能の使い方

- ① リモコンのアンテナを伸ばし、「STOP」操作を行います。

- ① アンテナユニット（車両側）からの信号を受信すると、リモコンは電波到達エリアであること（エンジン停止中であることを）、ブザー音（ピロロッ↓）と「STOP」ボタンのイルミネーション表示（赤色に点灯）でアンサーバックします。

- アンサーバックが無くエラーになる場合は、電波到達エリア外のため、リモコンで操作をしても車両側は基本的に作動しません。



注意

- インフォメーション機能により電波到達エリア内の場合でも、「START」操作をしたときに「スマートキーの認証失敗」のアンサーバックが出て、エンジンの始動ができないことがあります。
- 電波到達エリアの確認は、通信できる距離の目安としてご利用ください。

オートライトキャンセル

- 車両のオートライト機能（ライトスイッチが「AUTO」のポジション）を使用して、エンジンスタートでアイドリング中にエンジンが停止した場合、自動的にヘッドライトを消灯させる機能です。

- オートライト配線を接続していないと、この機能は利用できません。配線が行われていない場合は、オートライトキャンセル機能は作動しないため、エンジンが停止しても夜間等ではヘッドライトが消灯せず、バッテリー上がりを起こす恐れがあります。配線の接続は、取り付け店に依頼してください。

- 夜間等、エンジンスタートによるアイドリング時に、無人状態でのヘッドライト点灯を防ぐ意味でも、駐車時には車両のライトスイッチを「OFF」にしておくことをお勧めします。

- 取り付けの車種により、この機能が使用できない場合があります。販売店または取り付け店にご確認ください。

スリープタイマー

- 30日以上、リモコンの「START」操作をせずにエンジンスタートを使用しなかったり、車両のプッシュボタンでIG電源を「ON」にすることがなかった場合、車両バッテリーの負担を軽減するために、リレーユニットはスリープ（節電）モードに入ります。

- スリープモード中は受信動作を停止するため、リモコンで送信操作をしても車両側は作動しません。

- スリープモードから通常使用状態に復帰させるときは、車両のプッシュボタンで3秒以上IG電源を「ON」にしてください。

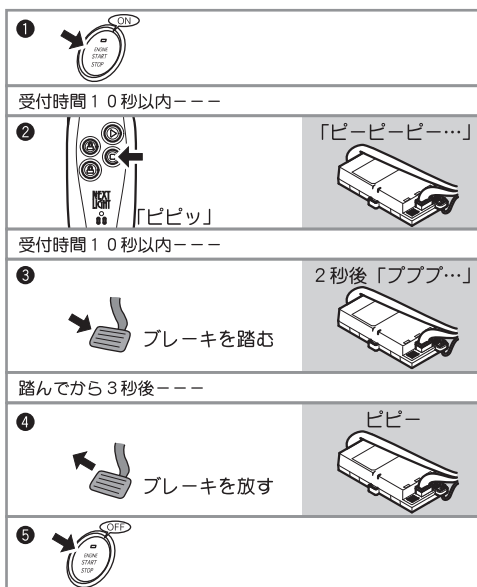
4 機能の設定

- 各機能は、リモコンを使って設定を行います。
- 機能の設定は、それぞれの設定手順に従って、必要に応じて行ってください。
- 各機能の設定完了後は、機能が設定したとおりに作動することを必ず確認してください。
- 設定手順の間違いなどで機能が正しく作動しなかった場合は、設定のリセット（36ページ）を行い、全ての設定を工場出荷時の状態（初期設定）に戻してから、もう一度各機能の設定を行ってください。
- 設定手順のブザーは、リレーユニットから出るブザー音です。

1 初期設定

- 取り付け直後、およびリレーユニットの電源が切られた場合（車両のバッテリーを外したとき等）は、この設定をしないとエンジンスターターでエンジン始動はできません。

- 1 車両のプッシュボタンを2回押しして、イグニッションを「ON」にする
----受付時間10秒以内----



- 3 フットブレーキを踏む
→ブザー：2秒後に「ブブブ...」
----踏んでから3秒後----

- 4 フットブレーキを放す
→ブザー：「ピピー」
----初期設定完了----

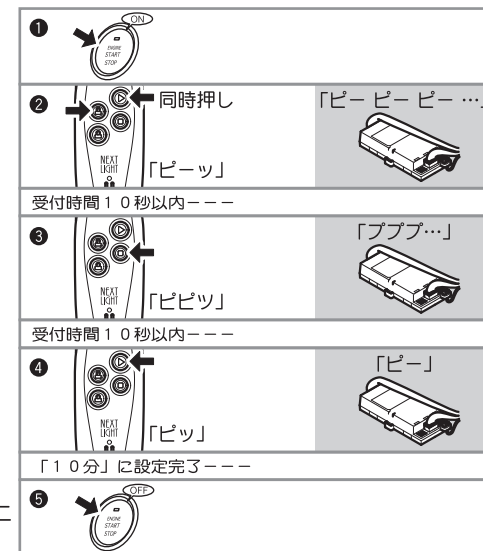
- 5 車両のプッシュボタンを1回押しして、イグニッションを「OFF」にする

2 アイドリング時間の設定（出荷時：20分）

- エンジンスターターのアイドルタイマー（暖機）時間を「10分」、「20分」、「30分」のいずれかに設定できます。

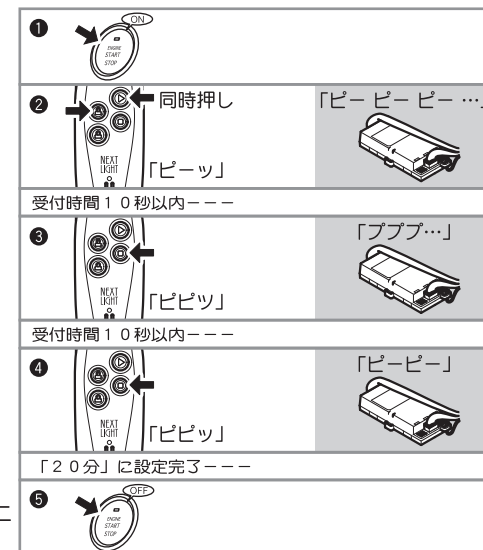
「10分」の手順

- 1 車両のプッシュボタンを2回押しして、イグニッションを「ON」にする
----受付時間10秒以内----
- 2 「START」「UNLOCK」ボタンを同時に押す
→送信音：「ピーッ」
→ブザー：「ピーピーピー...」
----受付時間10秒以内----
- 3 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピピッ」
→ブザー：「ブブブ...」
----受付時間10秒以内----
- 4 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピッ」
→ブザー：「ピー」
----「10分」に設定完了----
- 5 車両のプッシュボタンを1回押しして、イグニッションを「OFF」にする



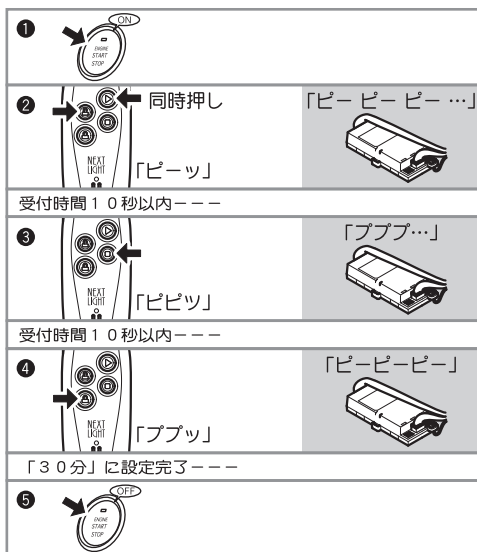
「20分」の手順

- 1 車両のプッシュボタンを2回押しして、イグニッションを「ON」にする
----受付時間10秒以内----
- 2 「START」「UNLOCK」ボタンを同時に押す
→送信音：「ピーッ」
→ブザー：「ピーピーピー...」
----受付時間10秒以内----
- 3 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピピッ」
→ブザー：「ブブブ...」
----受付時間10秒以内----
- 4 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピピッ」
→ブザー：「ピーピー」
----「20分」に設定完了----
- 5 車両のプッシュボタンを1回押しして、イグニッションを「OFF」にする



「30分」の手順

- 1 車両のプッシュボタンを2回押し、イグニッションを「ON」にする
--- 受付時間10秒以内---
- 2 「START」「UNLOCK」ボタンを同時に押す
→送信音：「ピーッ」
→ブザー：「ピーピーピー…」
--- 受付時間10秒以内---
- 3 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピピッ」
→ブザー：「ブブブ…」
--- 受付時間10秒以内---
- 4 「LOCK」ボタンを押す
→送信音：「ブブッ」
→ブザー：「ピーピーピー」
--- 「30分」に設定完了---
- 5 車両のプッシュボタンを1回押し、イグニッションを「OFF」にする



5 こんなときは (Q & A)

リモコン操作関係

Q

リモコンの操作距離が短くなった。

A

- ① リモコンのアンテナを十分伸ばして操作していますか。
●操作してアンサーバックが表示されるまで、アンテナを伸ばしておいてください。
- ② 電池が消耗していませんか？
●新しい電池 (CR2032 × 2個) と交換してください。(9ページ参照)
- ③ 周囲の電波環境が悪いのでは？
●しばらく時間をあけ、場所を変えて、もう一度操作をしてください。

エンジン始動関係

Q

リモコンの「START」操作をしても、エンジンがかからない。

A

- ① スマートキーの認証ができていないのでは？
●「START」操作後、「スマートキーの認証失敗」のアンサーバックが出たときは、スマートキーの認証ができないため、エンジンの始動ができません。(12ページ参照)
- リモコンは必ず車両のスマートキーと一緒に持って、間隔が3cm以上離れないようにして使用してください。(10ページ参照)
- ② スマートキーの電池が消耗しているのでは？
●車両のスマートキーの電池が消耗して、プッシュボタン操作によるエンジン始動ができなくなると、リモコンによるエンジン始動ができません。
●スマートキーの電池を交換してください。

- ③ 車室内にスマートキーが残っていませんか？
- 予備（スペア）のスマートキーも含めて、全て車室外に出してからリモコンでエンジン始動操作をしてください。
- ④ 車両のバッテリー端子を外したことがありますか？
- 「START」操作後、リモコンのエラーでブザーが「ブーブブ」と鳴ったら、「初期設定」を行ってください。（18ページ参照）
- ⑤ エンジン始動の条件（安全機構）は満たされていますか？
- 始動条件（安全機構）が満たされているか、確認してください。（15ページ参照）
 - ボンネットセンサー（別売のオプション部品）が取り付けされている車両のボンネットを開けた場合は、ボンネットを閉めてから、車両のプッシュボタンで車両のIG電源を3秒以上「ON」する、またはリモコンで「STOP」操作をする、のいずれかを行ってください。（ボンネット検出のリセット）
- ⑥ 車両のIG電源が「ON」になっていませんか？
- プッシュボタンでIG電源を「OFF」にしてください。
- ⑦ エンジンの始動性が悪くなっていませんか？
- 車両のプッシュボタンで始動してもエンジンのかかりが悪い場合には、車両の整備をした上で取り付け店にご相談ください。
- ⑧ 車両のバッテリーが弱っていませんか？
- バッテリーが弱っていたら、充電、または交換をしてください。
- ⑨ 「リモコンの操作距離が短くなった」（21ページ）の項目を確認してください。

Q

リモコンの「STOP」操作をしても、エンジンが止まらない。

A

- ① 車両のプッシュボタンでエンジンを始動していませんか？
- プッシュボタンを押して、エンジンを止めてください。
- ② 「リモコンの操作距離が短くなった」（21ページ）の項目を確認してください。

Q

エンジンは始動するが、すぐに停止してしまう。

A

- ① 車両のバッテリーが弱っていませんか？
- バッテリーが弱っていたら、充電、または交換をしてください。
- ② エンジン始動検出ができていませんか？
- 車両側への配線（L端子線の接続）が必要です。取り付け店に依頼してください。

各機能関係

Q

各機能が使用できない。

A

- ① 機能の設定はされていますか？
- 使用する機能の設定を行ってください。（18～20ページを参照）
- ② 必要な配線はされていますか？
- 使用する機能により、車両側への配線が必要です。取り付け店に依頼してください。

ドアロック／アンロック関係

Q

リモコンで操作をしても、ドアロック／アンロックができない。

A

- ① ドアロック／アンロックの配線はされていますか？
- 車両側への配線（ドアロック／アンロック線の接続）が必要です。取り付け店に依頼してください。
- ② 車両のイグニッション（IG電源）が「ON」になっていませんか？
- 車両のプッシュボタンを1回押して、イグニッションを「OFF」にしてください。

Q

リモコンを操作してもエラーになり、車両側が作動しない。

A

- 「リモコンのエラーについて」（15～16ページ）を参照して、エラーの内容を確認してください。

Q

車両のバッテリーを外した。

A

- 「初期設定」を行ってください。（18ページを参照）

Q

リモコンを紛失（破損）してしまった。リモコンを新しくしたい。

A

- スペアリモコンを有償で注文できます。保証書、またはリレーユニットのシリアルナンバーを確認して、取り付け店または販売店に注文してください。
- ただし、スペアリモコンを使用する場合には、今までの古いリモコンは使えなくなります。（1台の車両に対して、使用できるのは1台のリモコンのみです）

2 エンジンスターターの取り付け方

1. 梱包内容

梱包内容	27
梱包内容の他に必要なもの	27

2. 取り付け前の準備

揃えておきたい主な工具	28
エレクトロタップでの分岐接続方法	28
接続の概念図（システム図）	29
接続先の信号一覧	28

3. 取り付け作業

取り付けの前に	30
① アンテナユニットの取り付け	30
② 専用ハーネスの取り付け	31
③ CN2 配線の接続	32
④ DIP-SWの設定	33
⑤ カブラ・コネクタの接続	33
⑥ 初期設定	33
⑦ 動作チェック	34
⑧ リレーユニットの取り付け	35
⑨ 取り付け後の配線処理	35
⑩ 機能の設定	35
⑪ 設定のリセット	36
⑫ リレーユニットのプザーアンサーバック表	36

4. 主な仕様

4. 主な仕様	37
---------	----

5. スペアリモコンについて

5. スペアリモコンについて	40
----------------	----

6. アフターサービス

6. アフターサービス	40
-------------	----

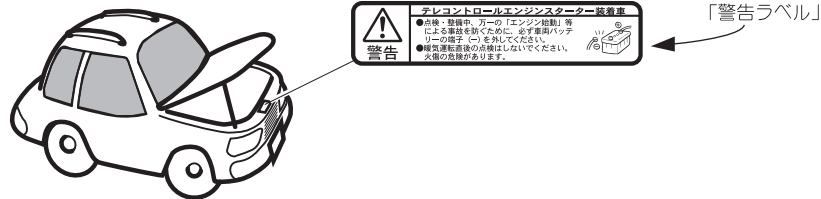
取り付け上のご注意

本製品を安全に、最良の状態でご使用いただくために、取り付け前に必ずお読みください。



警告

- 本製品は後付けの性格上、車両内の重要な配線部分に接続するようになっています。誤配線、配線省略、設定間違い、リレーユニットの固定不徹底、配線の後処理の不徹底等は重大な事故を起こす原因となりますので、取り付け説明に従って注意を良く守り、一つ一つ接続先を確認しながら作業を進めてください。
- 作業終了後は実際に操作して動作確認をしてください。
車両が安全な場所にあること、周囲に人がいないことを確かめ（特に車両の前後、ボンネット内で作業をしていると危険）、実際にリモコンを操作して動作チェックをしてください。また、正常に動作しないままでのご使用や、お客様への引き渡しはしないでください。
- 取り付け終了後は「本説明書」および販売店名、販売日を記入した「保証書」をお客様にお渡しください。
- 付属の「警告ラベル」を、エンジンルーム内の良く見え、高温にならない場所に、油やほこりを良く拭き取ってから貼ってください。本製品を取り付ける際に「警告ラベル」が無い場合は、販売店または取扱店より入手して貼るようにしてください。



- 「警告ラベル」がない状態で点検整備をした場合、事故を起こす危険があります。

取り付けにあたって知っておきたい注意事項



警告

- 取り付けは、概念的な説明で確実に取り付けのできる、専門の知識を持った技術者が行うようにしてください。お客様ご自身で取り付けの場合は、PL保険の対象になりません。
- 本製品に関する一般的な注意事項は、「使用上のご注意」(2~6ページ)に記載されています。取り付け前に必ずお読みください。

1 梱包内容

梱包内容

品名	数量	品名	数量
リモコン	1	アンテナユニット	1
リレーユニット	1	両面テープ(リレーユニット用)	1
警告ラベル	1	CN2 ハーネス(8極)	1
取扱・取付説明書(本書)	1	バンド(リレーユニット用)	1
保証書	1	束線バンド(黒色)	5
個人情報保護シール	1	エレクトロタップ	5

梱包内容の他に必要なもの

- 以下の部品、および車種別取付資料は、販売店にお問い合わせいただくか、インターネットのホームページ(40ページ参照)で確認していただき、必要なものを準備してください。

1. 専用ハーネス(必ず用意する)
 - 取り付ける車種により、品名と品番が異なります。
2. 主なオプション部品(必要に応じて用意する)

ボンネットセンサー(EP051)

- エンジン始動条件の安全機構で、「ボンネット開」を検出する場合に必要です。
- 車両の点検整備時の安全を確保するために、取り付けをお勧めしています。

ハザードユニット(EP156)

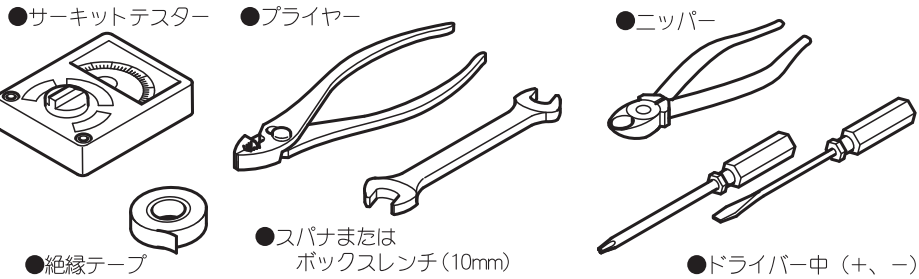
- 本製品のリモコンでドアロック/アンロック操作をしたときに、車両のハザードランプを点滅させて、離れた場所から動作状態を確認する場合に必要です。

3. 車種別取付資料(必ず用意する)

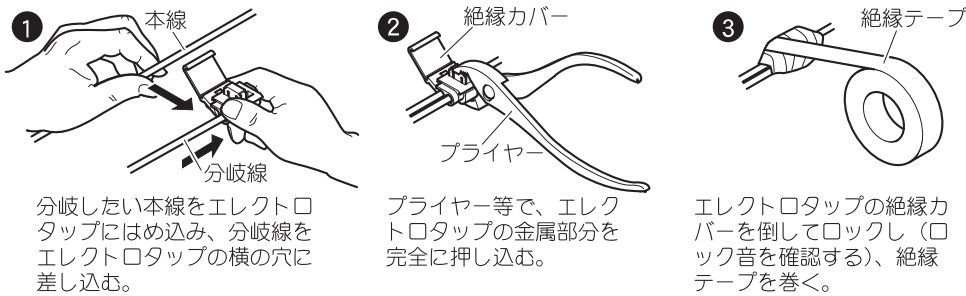
- 取り付ける車種ごとに、専用に作成された取り付け資料です。

2 取り付け前の準備

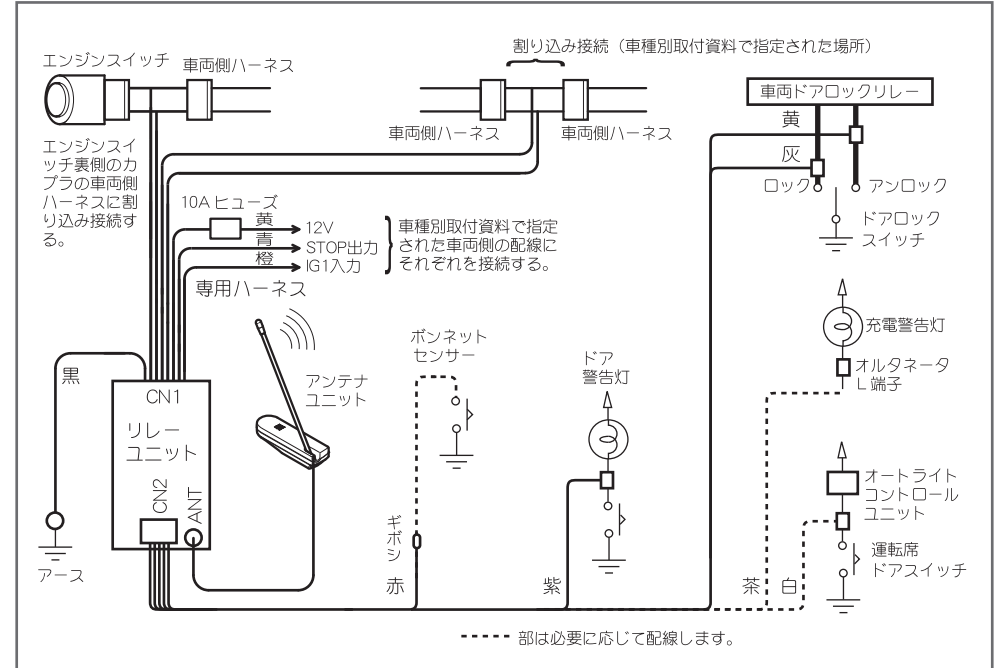
揃えておきたい主な工具



エレクトロタップでの分岐接続方法



接続の概念図 (システム図)



接続先の信号一覧 (CN2 ハーネス)

●サーキットテスターで信号の電圧を確認してください。

カブラ NO.	線色	接続先	条件	接続先の信号	備考	
CN2	茶	L 端子	車両のIG電源が「ON」	エンジンがかかっていない → 約 1 V	エンジンがかかっている → 12 V	エンジン始動不具合車 → 配線する
	赤	ボンネットセンサー	CN2 をリレーユニットから外した状態	ボンネット開 → アースと導通	ボンネット閉 → アースと非導通	ボンネットセンサー有り → ケーブルのギボシに接続 ボンネットセンサー無し → 絶縁スリーブをかぶせる
	紫	ドア		ドア開 → 0 V	ドア閉 → 12 V	車種により、ドア開の電圧は、数 V の場合があります。
	白	オートライト		運転席ドア 開 → 0 V	運転席ドア 閉 → 12 V	車種により、運転席ドア開の電圧は、数 V の場合があります。
	灰	ロック		何もしないとき → 12 V	ロックしたとき → 0 V	車種により、何もしないときの電圧は、数 V の場合があります。
	黄	アンロック		何もしないとき → 12 V	アンロックしたときとき → 0 V	

3 取り付け作業

- 車両のバッテリー端子の(-)を外してから、作業を行ってください。
- 取り付ける車両ごとに異なる、配線の接続先・取り付け上の注意事項等は、必ず「車種別取付資料」を参照してください。本説明書では、一般的な説明と補足説明にとどめます。

取り付けの前に

あらかじめリレーユニットの取り付け場所を決めてください。



警告

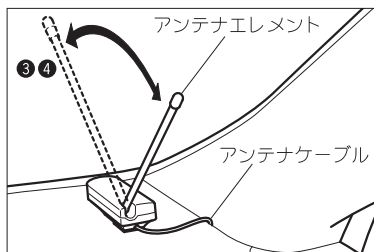
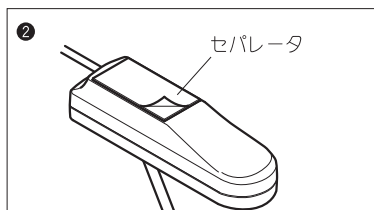
- リレーユニットは車室内に設置し、取り付け場所は、高温（85℃以上）とならない、水の浸入しない、結露しにくい場所にしてください。
- 専用ハーネス、CN2ハーネス、アンテナケーブルは、リレーユニットの取り付け場所を中心に取り回して接続してください。

1 アンテナユニットの取り付け

- アンテナユニットは、運転席側ダッシュボードサイドの両面テープで確実に固定できる平らな面に取り付けてください。

- 1 アンテナユニットを取り付ける場所を決め、取り付け場所をクリーニングする（汚れや油をきれいに拭き取る）
- 2 両面テープのセパレータを取り、貼り付ける（※1）
- 3 アンテナエレメントの角度を調整する
- 4 アンテナケーブルをリレーユニット取り付け場所に導く

※1 両面テープを貼り付ける際には、周囲の温度が20℃以上の環境で作業をしてください。低温環境では、両面テープの接着が弱くなり、剥がれ落ちる場合があります。



警告

- アンテナユニットを取り付けるときに、取り付け場所の油やほこりを良く拭き取って、容易に剥がれないように貼ってください。剥がれ落ちると運転に支障をきたすおそれがあります。
- アンテナユニットは視界の妨げにならない位置に設置してください。

2 専用ハーネスの取り付け

- それぞれのカブラ、および配線の接続先は、必ず取り付けする車両の車種別取付資料を参照して、指定されたところに接続してください。
- ④、⑤、⑥で接続に使用するエレクトロタップは、専用ハーネスに付属のものを使ってください。

① エンジンスイッチ割り込みカブラの接続

専用ハーネスの10Pまたは14P白色カブラ（オス・メス）を、車両側のエンジンスイッチ裏側のカブラに割り込み接続する。

- エンジンスイッチは、車両により運転席側正面の右側、または左側にあります。

② 中継割り込みカブラの接続

専用ハーネスの中継割り込みカブラ（オス・メス）を、車種別取付資料で指定された車両側の中継カブラに割り込み接続する。

③ アース線の接続

専用ハーネスの黒色線（ラグ端子付き）を、車体に直接締めつけてある（塗装されていない車体アース）ボルト、ネジに共締めして固定する。

- アース線の推奨固定場所は、車両により車種別取付資料に記載してあるので、参照してください。

④ STOP 出力線（青色）の接続

専用ハーネスの青色線（先端切りっ放し）を、車種別取付資料で指定された車両側の配線（STOP 出力）に、付属のエレクトロタップ（桃色）を使用して接続する。

⑤ IG1 入力線（橙色）の接続

専用ハーネスの橙色線（先端切りっ放し）を、車種別取付資料で指定された車両側の配線（IG1 入力）に、付属のエレクトロタップ（桃色）を使用して接続する。

⑥ 12V 線（黄色）の接続

専用ハーネスの黄色線（10A ヒューズ付き、先端切りっ放し）を、車種別取付資料で指定された車両側の配線（12V）に、付属のエレクトロタップ（桃色、または赤色）を使用して接続する。

- 車両により、12V 線（黄色）接続先の車両側配線の線径（太さ）が異なるため、使用するエレクトロタップは、車両側配線の線径によりいずれかを使用してください。

- ・線径（太さ）が 0.5mm 以下の場合……桃色のエレクトロタップを使う。
- ・線径が 0.5mm を超える（太い）場合…赤色のエレクトロタップを使う。



警告

- 点検、修理、別の車両への載せ替え等で、リレーユニット本体を取り外す場合は、必ず専用ハーネスを取り外し、車両側のカブラを本来の接続状態に戻してください。
- 上記の対応を行わないと、車両のスマートキーによるエンジンの始動、およびドアロック/アンロックが全くなきになります。

3 CN2 配線の接続

1 ドア（紫色）の配線

必ず配線する。

- 配線しないと、ドアの開閉検出ができません。安全のために必ず配線してください。
- 配線しない場合でも、エンジンは始動できます。

2 L 端子（茶色）の配線

必要に応じて配線する。

- 始動不具合車（下記の状態になる場合）は配線してください。

- ① セルモーターを駆動しエンジンは始動するが、しばらくすると停止してしまう。
- ② セルモーターを駆動し、エンジンがかかっているのに、車両のIG電源が ON したままの状態になる。

3 オートライト（白色）の配線

オートライト機能付き車は車種により必要に応じて配線する。

- オートライトキャンセル機能を使用する場合は、配線してください。
- 配線が必要な車種は、車種別取付資料に配線先が記載されています。
- 取り付けの車種により、オートライトキャンセル機能が使用できない場合があります（車種別取付資料を参照）。この場合には、オートライトの配線をしないでください。
- 配線をしない場合でも、エンジン始動はできます。

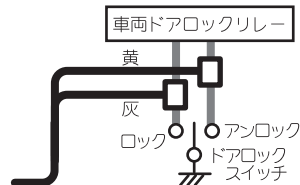
4 ボンネット（赤色）の配線

オプション部品のボンネットセンサーを取り付ける時は配線する。

- 取り付け、配線方法は、ボンネットセンサーに付属の取付説明書を参照してください。
- ボンネットセンサーを取り付けない場合は配線をせずに、ケーブルに付属しているスリーブをギボシにかぶせて絶縁処理をしてください。

5 ドアロック（灰色）／アンロック（黄色）の配線

必ず配線する。



注意

- 配線をしないと、リモコンの「LOCK」／「UNLOCK」操作で、ドアロック／アンロックができません。

4 DIP-SW の設定

- 取り付けの車両により、必要な場合はリレーユニットの DIP-SW の設定を行ってください。DIP-SW の設定が必要な車種は、車種別取付資料に設定方法が記載されています。

① DIP-SW の設定

車種別取付資料に記載されている説明に従い、DIP-SW の No.1~3 を設定してください。

- DIP-SW の設定を間違えた場合は、エンジンスターターによるエンジン始動ができない場合がありますのでご注意ください。
- DIP-SW は、出荷時は全て「OFF」にセットされています。設定が必要でない車種は、「OFF」のままにしておいてください。

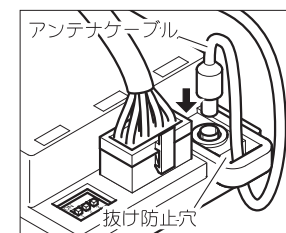
5 カプラ・コネクタの接続

① CN1、CN2 の接続

- 専用ハーネスの 14P コネクタを CN1 へ、CN2 ハーネスの 8P コネクタを CN2 へ、それぞれ接続してください。
- CN1 を接続してリレーユニットに電源が入ると、「ピロロロ」とブザー音が出ます。

② アンテナコネクタの接続

- 図のようにアンテナケーブルを抜け防止穴に通してから、アンテナコネクタへ接続してください。



6 初期設定

- 接続が全て完了してからこの設定を行ってください。
- この設定をしないとエンジンスターターによるエンジン始動ができません。
- 車両のバッテリーを外したとき、またはリレーユニットの CN1 コネクタを外したときは、この設定が必要です。

操 作	送信音	リレーユニットのアンサーバック音	備 考
車両の IG 電源 → 「ON」			受付時間 10 秒以内
「STOP」	ピピ	ピーピーピー...	受付時間 10 秒以内
フットブレーキを踏む		2 秒後ブブブ...と音が変化	踏んでから 3 秒後
フットブレーキを放す		ピーピー	

7 動作チェック

- 「初期設定」(33ページ)をしてから、動作チェックを行ってください。
- リモコンは、必ず車両のスマートキーをキーホルダー用リングに取り付けしてから使用してください。(10ページ参照)
- 車両のスマートキーを全て車室外に出してから、動作チェックを行ってください。
- 操作に関する詳細と注意事項は、「動かしてみよう」(11～16ページ)を参照してください。

1. エンジンの始動

操 作	送信音	エンジン	リモコンのアンサーバック
「START」	ピッ	始動する	する

2. エンジンの始動の確認 (始動してから30秒後)

操 作	送信音	エンジン	リモコンのアンサーバック
「START」	ピッ	アイドリング中	する

3. エンジンの停止

操 作	送信音	エンジン	リモコンのアンサーバック
「STOP」	ピピ	停止する	する

4. ドアロック

操 作	送信音	ドア	リモコンのアンサーバック
「LOCK」	ブブ	ロックする	する

5. ドアアンロック

操 作	送信音	ドア	リモコンのアンサーバック
「UNLOCK」	プッ	アンロックする	する

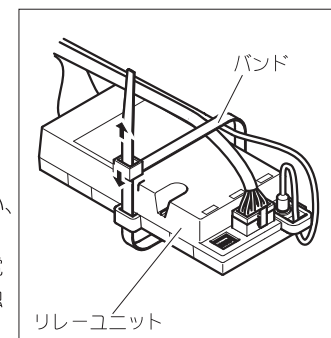
正常に作動しないときは

- リモコンを操作すると、リレーユニットがブザーによりアンサーバックをします。その音によって正常、異常が判断できますので、リレーユニットのブザーアンサーバック表(36ページ)を参照して、異常箇所を一つ一つ直しながらチェックしてください。
- 異常箇所が重複している場合は、最初の異常箇所をアンサーバックします。それが解決すると次の異常箇所のアンサーバックをします。

8 リレーユニットの取り付け

- ①動作チェックをして、確実に動作することを確認してから取り付けを行う。
- ②リレーユニットの取り付けは、付属のバンド、両面テープ等でゆるみ、がたつきのないように、車両のハーネス等にしっかりと固定する

- リレーユニットは車室内(高温：85℃以上とならない、水の浸入しない、結露しにくい場所)で、なるべくコネクタは下向きになるように取り付けてください(電線を伝わって水が浸入すると、ほこり等による接触不良を防止するため)



9 取り付け後の配線処理

- 配線コードは車両の可動部(チルトステアリング、アクセル、ブレーキ、パーキングブレーキ、アクセルリンク等)またはシャープエッジに触れたり、挟み込まれたり、垂れ下がらないように束線バンド等で結束してください。また、絶縁処理の必要な配線は絶縁テープ等で処理をしてください。



- リレーユニットの取り付けが不完全な場合、落下等で運転に支障をきたし、重大な事故につながるおそれがあります。
- リレーユニットは足下の水の跳ね返りや、外部からの水の浸入が無いように設置してください。内部に水が浸入すると、動作不良等によって重大な事故につながるおそれがあります。(リレーユニットは防水対応ではありません。)
- 配線コードが挟み込まれたりすると、場合によっては断線、ショートが起こり、リレーユニットまたは車両のシステムを破損したり、アクセル、ブレーキが正常に操作できなくなったり、車両火災を起こす危険があります。

10 機能の設定

- 各機能は、リモコンを使って設定を行います。
- 機能の設定はお客様に引き渡す前に、あらかじめお客様に確認の上で必要に応じて行ってください。
- 各機能の詳細、および設定手順は、「便利な機能」および「機能の設定」(17～20ページ)を参照してください。
- 設定により変更できる機能と、工場出荷時の各機能の設定は、以下の一覧表を参照してください。

機 能	出荷時設定
アイドリング時間の設定	20分

11 設定のリセット

●各機能の設定をリセットして、全て工場出荷時の設定（35ページ）に戻したい場合は、以下の手順で設定のリセットをしてください。

■「設定のリセット」手順

操 作	送信音	リレーユニットのアンサーバック	備 考
車両のIG電源→「ON」			受付時間 10 秒以内
「START」 & 「STOP」	ピピピッ	ピーピーピー…	受付時間 10 秒以内
「START」	ピッ	ピロロロッピピー	設定のリセット完了

12 リレーユニットのブザーアンサーバック表

番号	アンサーバック音	アンサーバック音が鳴る場合	
1	ピロロロッ↑	リレーユニットに電源が入ったとき	
2	ピーピーピー…	設定モード中 1	
3	ブブブ…	設定モード中 2	
4	ピピー	初期設定完了時 各機能の設定完了時 ボンネットのリセット操作完了時 スペアリモコンID書き込み完了時	
5	ブブー	各機能の設定完了時	
6	ピー	アイドリング時間「10分」設定完了時	
7	ピー ピー	アイドリング時間「20分」設定完了時	
8	ピー ピー ピー	アイドリング時間「30分」設定完了時	
9	ピッ	スタート・ストップ受け付け時	
10	ブーブブ	初期設定が行われていないとき フットブレーキが踏まれているとき	○
11	ブブ	ドアが開いたとき	○
12	ブブブブ	ボンネットが開いたとき	○
13	ブブブー	エンジン始動時にIG電圧が低いとき（9V以下） オート検出にて始動後のバッテリー電圧降下時	○
14	ブブブーブ	エンジン始動時にL端子電圧が既にながっているとき L端子検出にて始動後のL端子電圧降下時	○
15	ピピピー↑	オート検出での始動成功時	
16	ピピピーピ↑	L端子検出での始動成功時	
17	ピロピロ↓	アイドリングタイマー終了時	
18	ピー	ドアロック完了時	
19	ピーピー	ドアアンロック完了時	
20	ピロロロッピピー↑	設定のリセット完了時	
21	ブブーブ	スマートキーの認証失敗時	○
22	ピーッ ピーッ…	ローリングコードエラー時	

○印は、エンジンが始動しないとき、またはエンジンが停止したとき（アイドリング終了時）に発音します。

4 主な仕様

■リモコン

送信周波数	920MHz帯（特定小電力無線機器）
送信出力	10mW 以下
アンテナ	2 段ロッド
スイッチ	START / STOP / LOCK / UNLOCK
送受信確認	ブザー & LED
電池消耗確認	ブザー
使用電池	リチウム電池 CR2032 × 2 個
防水対応	JIS 保護等級PX2相当
動作温度範囲	- 20℃ ~ + 70℃
寸法	76mm × 34mm × 16mm（突起部含まず）
重量	36g（電池含む）

■リレーユニット

送信周波数	920MHz帯（特定小電力無線機器）
送信出力	10mW 以下
電源電圧	DC9 ~ 16V（12V 車専用）
消費電流	7 mA（待受時平均値）
動作確認	ブザーにより、車両側の動作状態を発音
動作温度範囲	- 30℃ ~ + 70℃
寸法	125mm × 57mm × 25mm（突起部含まず）
重量	96g

■アンテナユニット

方式・取付方法	J型、ダッシュボードサイド取り付けタイプ
使用温度範囲	- 30℃ ~ + 95℃
寸法	98mm × 27mm × 22mm（エレメント含まず）
重量	56g
ケーブル長さ	1500mm

※仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

操作・設定早見表（ふろく）

エンジンの始動	【START】
始動確認	【START】
停止	【STOP】
ロック	【LOCK】
アンロック	【UNLOCK】
電波到達エリアの確認	【STOP】
初期設定	【★★】【STOP】【FB ↓】【FB ↑】【★】
アイドリング10分	【★★】【START / UNLOCK】【STOP】【START】【★】
アイドリング20分	【★★】【START / UNLOCK】【STOP】【STOP】【★】
アイドリング30分	【★★】【START / UNLOCK】【STOP】【LOCK】【★】
スペアリモコンID書込	【★★】【START / STOP】【STOP】【★】
設定のリセット／初期状態に戻す	【★★】【START / STOP】【START】【★】
ローリングコードリセット	【★★】【START / STOP】【START / STOP】【★】

【★★】の操作は、車両のプッシュボタンを2回押して、イグニッションを「ON」にする。

【★】の操作は、車両のプッシュボタンを1回押して、イグニッションを「OFF」にする。

取扱・取付説明書相異表 (NEXT LIGHT-T2)

はじめに

この「取扱・取付説明書相異表」は、本製品に付属している取扱・取付説明書に記載されている各説明の中で、製品の仕様による相異内容をまとめてあります。

本製品の仕様は、「NEXT LIGHT-T2」です。

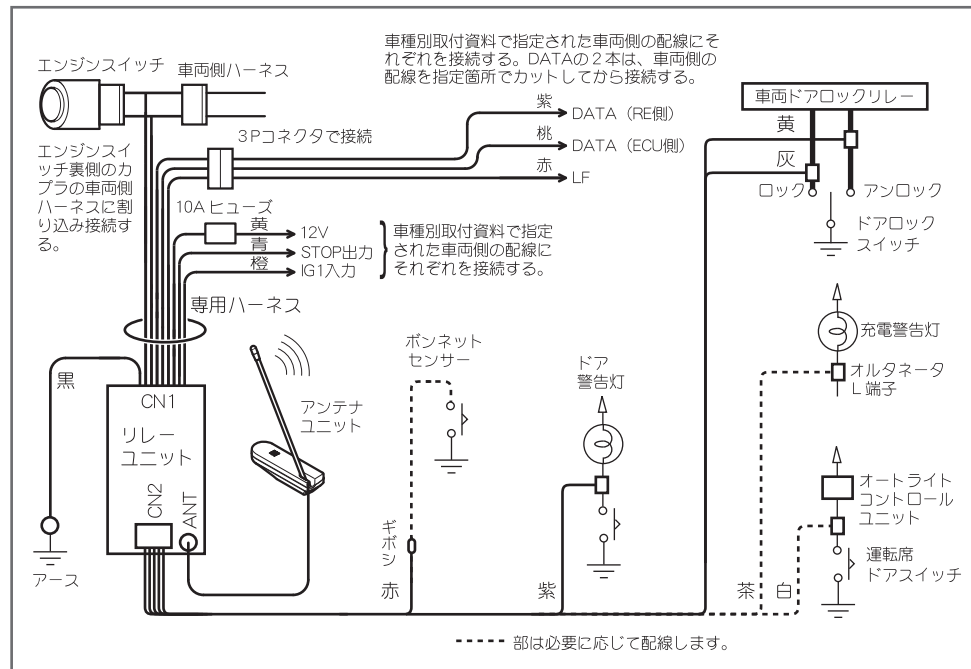
本製品のシリアルナンバーは、「BE000001～」です。

本製品では、この「取扱・取付説明書相異表」に記載した各ページの項目について、付属の取扱・取付説明書の説明内容と差し替えをしてください。

相異内容・もくじ

■接続の概念図（システム図）	2
■専用ハーネスの取り付け	3
■青色エレクトロタップでの接続方法	4

●接続の概念図（システム図）



2 専用ハーネスの取り付け

●それぞれのカブラ、および配線の接続先は、必ず取り付けする車両の車種別取付資料を参照して、指定されたところに接続をしてください。

●⑥、⑦、⑧で接続に使用するエレクトロタップは、専用ハーネスに付属のものを使ってください。

① エンジンスイッチ割り込みカブラの接続

専用ハーネスの 10P または 14P 白色カブラ（オス・メス）を、車両側のエンジンスイッチ裏側のカブラに割り込み接続する。

●エンジンスイッチは、車両により運転席側正面の右側、または左側にあります。

② 青色エレクトロタップ付き配線（3本）の取り回し

専用ハーネスの青色エレクトロタップ付き配線（3本）を、車種別取付資料で指定された車両側の接続先付近へ取り回しをする。

●取り回しの際は、専用ハーネスで中継接続してある 3P コネクタを外して作業を行うことができます。3P コネクタを外した場合は、作業後に必ず元通りに接続してください。

③ LF 入力線（赤色）の接続

専用ハーネスの赤色線（青色エレクトロタップ付き）を、車種別取付資料で指定された車両側の配線（LF）へ接続する。

●青色エレクトロタップでの接続方法は、4 ページを参照してください。

④ DATA 線（桃色・紫色）の接続

まず、車種別取付資料で指定された車両側の配線（DATA）を、青色エレクトロタップで接続できる長さの場所でカットする。

専用ハーネスの桃色線、及び紫色線（両方とも青色エレクトロタップ付き）を、車種別取付資料で指定したカットされた車両側の配線（DATA）へそれぞれ接続する。

●桃色線と紫色線は、接続先（車種別取付資料で指定）を逆にしないように注意してください。接続後は、カットした車両側配線の先がエレクトロタップからはみ出さないようにして、ビニールテープを巻いて絶縁処理してください。

⑤ アース線の接続

専用ハーネスの黒色線（ラグ端子付き）を、車体に直接締めである（塗装されていない車体アース）ボルト、ネジに共締めして固定する。

●アース線の推奨固定場所は、車両により車種別取付資料に記載してあるので、参照してください。

⑥ STOP 出力線（青色）の接続

専用ハーネスの青色線（先端切りっ放し）を、車種別取付資料で指定された車両側の配線（STOP 出力）に、付属のエレクトロタップ（桃色）を使用して接続する。

⑦ IG1 入力線（橙色）の接続

専用ハーネスの橙色線（先端切りっ放し）を、車種別取付資料で指定された車両側の配線（IG1 入力）に、付属のエレクトロタップ（桃色）を使用して接続する。

⑧ 12V 線（黄色）の接続

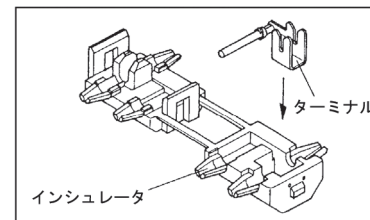
専用ハーネスの黄色線（10A ヒューズ付き、先端切りっ放し）を、車種別取付資料で指定された車両側の配線（12V）に、付属のエレクトロタップ（桃色、または赤色）を使用して接続する。

●車両により、12V 線（黄色）接続先の車両側配線の線径（太さ）が異なるため、使用するエレクトロタップは、車両側配線の線径によりいずれかを使用してください。

・線径（太さ）が 0.5mm 以下の場合……桃色のエレクトロタップを使う。

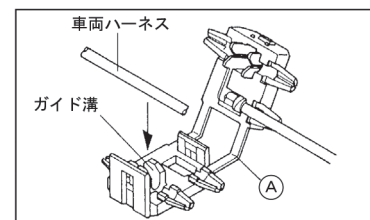
・線径が 0.5mm を超える（太い）場合……赤色のエレクトロタップを使う。

■青色エレクトロタップでの接続方法

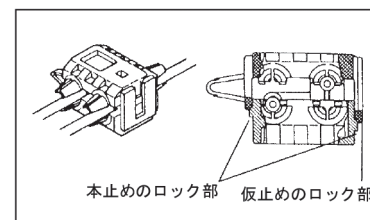


△ 注意

- ターミナルは、インシュレータに組付けられていますが、もし外れていた場合には、図のように、ターミナルを差し込み完全に固定されるまで押し込んでください。



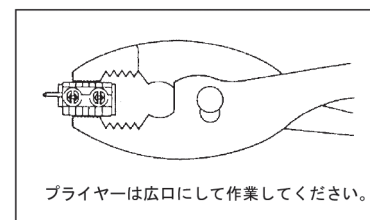
1. 接続したい車両ハーネスをガイド溝に入れます。
2. 図のように、A部を支点にして折り返します。



3. 仮止めの状態にします。

△ 注意

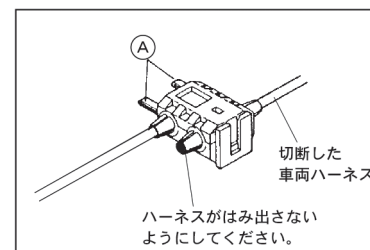
- 仮止めのロック部は、片側にしか設けられていません。本止めのロック部手前で止めておいてください。



4. プライヤーの先端面全体で、左右共、均等に力が加わるように、エレクトロタップの中央を挟み込み、左右の本止めロック部が掛かるまで圧着してください。

△ 注意

- 圧着する際、左右の本止めロック部のクリック音を確認してください。



【エレクトロタップの使用上のお願い】

1. A部が折れた場合でも性能には影響はありません。そのまま使用してください。
2. 切断した車両ハーネスを接続した場合は、エレクトロタップの反対側からハーネスがはみ出さないようにカットして、ビニールテープを巻いて絶縁処理してください。

△ 注意

- 一度使用したエレクトロタップは、再使用しないでください。